

2.3 委員会活動報告

2.3.1 理学部教務委員会 ·····	58
2.3.2 理学部教務委員会 教育改善部会 ·····	59
2.3.3 理学部教務委員会 教育実施部会 ·····	62
2.3.4 理学部広報委員会 高大連携部会 ·····	65
2.3.5 理学部広報委員会 情報・広報部会 ·····	67
2.3.6 理学部入試委員会 ·····	68
2.3.7 理学部就職指導委員会 ·····	69
2.3.8 理学部学生生活委員会 ·····	71
2.3.9 理学部国際交流委員会 ·····	73

2.3.1 理学部教務委員会

教務委員会委員長 若杉 達也

1. 教務委員会開催日

第1回：令和6年4月18日（木）.

2. 令和6年度に検討、実施した事項

1. 令和6年度教務委員会活動計画の策定

令和6年度教務委員会活動計画について検討し、一部修正したのち、運営委員会に付議した。

2. プログラム配属希望調査方法の検討

若杉委員長から、プログラム配属希望調査について検討し、オンラインで年4回調査を実施することとした。

3. 学部生の大学院授業科目先取り履修について

学部生の大学院授業科目先取り履修について審議し、理学部としては『先取り履修を認める』ことで学務課に回答することとした。

4. 令和6年度前期 TOEIC 英語 e-ラーニングの実施について

令和6年度前期の TOEIC 英語 e-ラーニングの実施について検討し、本授業は対面で開催されることとし、本授業については教務委員会委員が担当教員となり、輪番で授業の様子を見ていただくこととした。

2.3.2 理学部教務委員会 教育改善部会

教育改善部会長 若杉 達也

1. 部会開催日

第1回：令和6年5月22日、第2回：令和6年6月27日、

第3回：令和6年7月24日、第4回：令和6年8月27日、

第5回：令和6年10月16日、第6回：令和6年11月25日、

第7回：令和6年12月12日～12月19日（メール開催）、

第8回：令和7年2月28日の計8回開催した。

2. 令和6年度に検討、実施した事項

（1）令和8年度新教養教育科目に関する卒業要件等について

令和8年度新教養教育科目に関する卒業要件等について、理学部での数回の検討と教養教育院との話し合いを経て、現行の教養教育科目の卒業要件を改訂し、令和8年度新教養教育科目に関する卒業要件を決定し、運営委員会に付議することとした。

（2）令和8年度新教養教育科目「導入学修A」「導入学修B」について

令和8年度新教養教育科目の「導入学修B」の実施形態・実施体制などについて検討し、教養教育院の「導入学修B」の案を採用して実施することとした（教養教育院作成のテキストを用い、理学部教員が講義を行う）。

令和8年度新教養教育科目「導入学修A」「導入学修B」の開講曜限を審議決定した。

（3）理学部入門Bの実施について

理学部入門Bのシラバス、希望プログラム調査、受講希望者の割り振り、部屋割り、成績評価など授業の実施に当たって必要な事柄を決定した。

（4）サイエンスマディエーター及びサイエンスコミュニケーターの認定に関する

申合せの一部改正について

サイエンスマディエーター及びサイエンスコミュニケーターの認定に関する申合せの一部改正について審議して、改正を行った。

(5) 理学部・理工学研究科（理学系）合同 FD 研修会について

理学部・理工学研究科（理学系）合同 FD 研修会について検討し、以下のように理学部 FD 研修会を開催した。

- ・日 時 令和 6 年 7 月 10 日(水) 13:00~13:30
- ・場 所 オンライン（teams）開催
- ・主 催 理学部教務委員会・理工学教育部修士課程（理学領域）教育委員会
- ・講 師 理学部教務委員長 若杉達也
- ・テー マ 新理学部の教育課程

(6) 学生アンケートの実施・検証・利活用

富山大学卒業者・修了者進路追跡実態調査を踏まえた検証を行うとともに、令和 5 年度卒業時調査や令和 5 年度企業アンケートの結果について各学科・プログラムにおいて資料を活用するよう依頼した。

令和 6 年度の卒業時調査や企業アンケートの内容を検討し、一部修正して実施することとした。

(7) 所属プログラム希望調査について

1 年生に対する所属プログラム希望調査について検討を行った。

(8) 転学部・転学科について

転学部試験はプログラムごとに実施することとし、受け入れ条件を理学部理学科として一律で定めることについて検討した。

(9) 理学部の校舎に係る学生の退館時間について

理学部の校舎に係る学生の退館時間を全学方針どおり 19 時 00 分へ変更することとした。

(10) 令和 7 年度博物館実習科目の授業スケジュールおよび非常勤講師等雇用計画について

令和 7 年度博物館実習科目の授業スケジュールと非常勤講師等雇用計画について審議し、ワーキンググループの提案通り了承され、学務部学務課へ提出することとした。

(11) 令和 6 年度 TOEIC 英語 e ラーニングの単位認定について

令和 6 年度後期 TOEIC 英語 e ラーニングの単位認定について、従来の認定基準確認し、単位認定を

行った。

(12) 令和6年度 TOEICIP テストの表彰について

令和6年度後期 TOEICIP テストの表彰について検討し、従来の基準に従って表彰者を選定した。

(13) 理学部履修のしおり 2025について

理学部履修のしおり 2025について、記載内容に修正・追記がないかチェックを依頼した。

(14) 読み替え科目の成績評価方法について

読み替え科目の成績評価方法について審議し、改組前学生の成績の点数については「換算点かつC～Sの範囲である場合のみ点数で付けること」とすることとし、教授会に付議することとした。

(15) 過年度生向け開講科目の履修制限について

過年度生向け開講科目の履修制限について、学生への周知資料について、注釈に『他学科の学生が履修を希望する場合は担当教員に相談の上、履修可として認められた場合は教務窓口に申し出ること』の旨、追記することとした。

(16) 令和7年度学部横断型教育プログラム対象授業科目等について

令和7年度学部横断型教育プログラム対象授業科目等について審議し、学務部学務課へ提出することとした。

(17) 理学部新2年生プログラム別オリエンテーションについて

理学部新2年生プログラム別オリエンテーションについて審議し、実施日時を3月31日（月）2限の時間帯で理学科で統一し、実施形態（対面またはオンライン）は、各プログラムの判断とすることとした。

(18) 五大学理学部連携単位互換制度による単位の取扱いに関する申合せの一部改正について

五大学理学部連携単位互換制度による単位の取扱いに関する申合せの一部改正について審議し、教授会に付議することとした。

(19) 「成績評価分布の目標」における入門的科目について

「成績評価分布の目標」における入門的科目について審議し、概論科目は入門科目としないこととし、教授会に付議することとした。

2.3.3 理学部教務委員会 教育実施部会

教育実施部会部会長 林 直人

1. 部会開催日

5月10日（第1回）、6月19日（第2回）、9月9日（第3回）、10月25日（第4回）
11月7~12日（第5回メール審議）、12月23日（第6回）、2月5日（第7回）
3月14日（第8回メール審議）

2. 令和6年度に審議・検討、実施した事項

(1) 授業時間割（案）の作成

令和6年度後学期授業時間割および令和6年度前学期・後学期授業時間割（案）について、各学科・プログラムで作成した時間割案をとりまとめて審議し、教授会に付議した。

(2) 既修得単位、大学以外の教育施設等における学修および他大学における単位認定

第3年次編入学生の既修得単位の認定、実用英語技能検定・TOEIC IP の成績等に基づく単位の認定、海外短期語学研修における単位の認定、大学コンソーシアム富山単位互換科目(他大学開講)の単位認定について審議し、教授会に付議した。

(3) 観察実験アシスタント業務における単位認定

観察実験アシスタント業務において、所定の時間以上の勤務実績がある学生6名に対しての単位認定を審議し、教授会に付議した。

(4) サイエンスマディエーターの認定について

本年度は、学生3名の応募があった。令和6年12月19日にプレゼンテーション審査会を開催し、プレゼンテーションと書類審査を総合して応募者全員を合格とし、サイエンスマディエーターとして認定することを教授会に付議した。審査委員は3名の教員が担当した。

(5) 令和6年度前学期理学部 TOEIC IP テストの表彰について

7月に実施した理学部 TOEIC IP テストの成績優秀者の表彰について審議し、対象学生を選定した。

(6) 令和6年度前学期 TOEIC 英語 e-ラーニングの単位認定について

令和6年度前学期の TOEIC 英語 e-ラーニングの単位認定について審議し、従来の基準に従い対象学生を選定した。

(7) 令和6年度教育実習事前・事後指導について

令和6年度教育実習に係り、事前指導および事後指導について、学科輪番により本年度は生物学科の教務委員が担当し、12月18日に実施した。

(8) 令和7年度授業日程（案）の審議

令和7年度授業日程のうち理学部補講日について審議し、教授会に付議した。

(9) 令和7年度新入生行事日程

令和7年度新入生行事日程について審議し、教授会に付議した。

(10) 能登半島地震に伴う災害ボランティア活動参加による欠席の扱いについて

表記ボランティア活動……富山大学、金沢大学及び福井大学における数理・データサイエンス・AIに関する授業科目の単位認定について審議し、自由選択科目として認定することを教授会に付議した。

(11) 科学ボランティア単位認定要件について

NPOアレッセ高岡における、外国にルーツのある子供たちを対象としたボランティア活動を単位化することの是非について審議し、支援の上で本学部では扱いのない専門性が必要となる等の理由から、単位化を認めないとして教授会に付議した。

(12) 理学部入門Bにおけるプログラム対応について

理学部入門Bにおけるプログラム対応について審議し、2回目の希望プログラム調査時に、同科目

での前半・後半の受入れ人数の上限を学生に明示するとともに、希望プログラムの人数に偏りが生じる場合は、各プログラムの受入れ人数の変更が必要となる可能性がある旨、事前に実施部会委員より各プログラムへ連絡することとした。

(13) 令和7年度以降開講科目の読み替えについて

令和7年度以降開講科目の読み替え表を作成した。

(14) 追試験の取扱いについて

追試験の取扱いを次のように改めた。

・課外活動は、理学部規則中の「その他やむを得ない事由」に含まれるものとみなし、また追試験の許可については、授業担当教員の裁量に委ねることとする。

・学生の掲示から「課外活動」の字句を削除する。

(15) 科学ボランティア活動の単位認定について

「サイエンスフェスティバルの役員の単位認定」について審議し、当該役員の単位認定は行わないこととした。

(資料) 教育実習校訪問一覧 (理学系教員)

No.	教育実習校	訪問教員	実習教科名
1	富山県立富山東高等学校	横山 初	数学
2	富山市立東部中学校	木村 巍	数学
3	富山県立富山北部高等学校	柘植 清志	数学
4	富山市立山室中学校	上田 肇一	数学
5	富山市立速星中学校	永井 節夫	数学
6	富山市立和合中学校	宇田 智紀	数学
7	富山県立富山工業高等学校	川部 達哉	数学
8	入善町立入善西中学校	古田 高士	数学
9	富山市立堀川中学校	玉置 大介	数学
10	富山県立高岡南高等学校	菊池 万里	数学
11	富山県立富山いずみ高等学校	山根 宏之	数学
12	入善町立入善中学校	川部 達哉	数学
13	富山市立南部中学校	佐藤 勝彦	数学
14	富山市立大泉中学校	上田 肇一	数学
15	富山県立富山西高等学校	山本 将之	数学
16	富山市立新庄中学校	幸山 直人	数学
17	富山県立呉羽高等学校	畠田 圭介	数学
18	富山市立奥田中学校	永井 節夫	数学
19	富山県立石動高等学校	幸山 直人	数学
20	富山県立小杉高等学校	山根 宏之	数学
21	富山市立芝園中学校	山元 一広	理科
22	富山県立高岡南高等学校	菊池 万里	物理

23	富山県立雄峰高等学校	桑井 智彦	物理
24	富山市立奥田中学校	永井 節夫	理科
25	富山県立富山南高等学校	井川 善也	物理
26	富山県立呉羽高等学校	畠田 圭介	物理
27	富山県立高岡高等学校	山元 一広	物理
28	富山県立富山南高等学校	井川 善也	化学
29	高岡市立中田中学校	井川 善也	理科
30	富山市立大泉中学校	阿部 孝之	理科
31	高岡市立国吉義務教育学校	岡本 一央	理科
32	富山県立滑川高等学校	野崎 浩一	化学
33	富山県立富山中部高等学校	赤丸 悟士	化学
34	富山県立八尾高等学校	西 弘泰	化学
35	富山県立富山北部高等学校	柘植 清志	化学
36	富山県立富山東高等学校	横山 初	化学
37	富山県立富山西高等学校	山本 将之	生物
38	富山市立堀川中学校	玉置 大介	理科
39	砺波市立般若中学校	太田 民久	理科
40	富山市立東部中学校	木村 巍	理科
41	富山市立岩瀬中学校	張 効	理科

2.3.4 理学部広報委員会 高大連携部会

広報委員会委員長 高大連携部会長 青木 一真

1. 理学部広報委員会 高大連携部会

第1回：令和6年4月3日（水）

2. 2024年度の全般の広報活動について

2024年度の全般の活動は、活動の制限や様々な制約がなくなったが、感染予防対策を万全に、高大連携事業を行った。アドミッションセンターと連携を取りながら、高大連携活動を行った。

3. 高等学校生徒・保護者の理学部訪問

高等学校からの理学部訪問数は3校（県内3校、県外0校）であり、昨年よりさらに減った。いずれも理学部校舎で行った。高校生の訪問の場合には事前に模擬授業、施設見学、もしくは双方の希望の連絡があるため、それぞれの希望に合わせて実施した。高校からの理学部訪問は7月から8月までの間に行われた。

4. 高等学校訪問

富山県、福井県内の6高等学校を訪問で理学部の紹介または模擬授業を兼ねた理学部紹介を行った。高等学校での希望が模擬授業であっても、模擬授業と理学部紹介の双方を希望している場合が多いため、模擬授業の依頼であっても理学部紹介も行うようにした。対象学年は主に1-3年であり、複数学年が混在していた。また、高校訪問の依頼は6月から1月までの間に行われた。

5. 探究科学科等の課題研究への協力

富山県内の探究科学科設置校である富山中部、富山、高岡の3高等学校、県内の高岡南高校、富山東高等学校、氷見高等学校、砺波高等学校、北信越地区高等学校自然科学部の課題研究に協力した。また、2022年度より富山県高等学校自然科学部向けに、課題研究にむけて講習会を今年度も行った。

課題研究指導

富山中部高等学校に教員4名、富山高等学校に4名、高岡高等学校に教員3名、富山東高等学校に教員5名、高岡南高等学校に教員4名、砺波高等学校に教員1名、北信越地区高等学校自然科学部に教員1名が課題研究の指導または発表会の講評に協力した。富山中部高等学校、富山高等学校、それに高岡高等学校とは派遣教員希望数および課題研究の内容の提示があったため、学部内で課題研究テーマに専門の近い教員へ依頼した。

6. オープンキャンパス

オープンキャンパスは、2024年8月3日に理学部校舎で対面開催となった。高校生にわかりやすい学部・学科説明を行うために、ウェブにより動画も公開した。

7. 氷見ラボでの教育活動

ひみラボにおいて、ひみラボ自然史研究会2024（6/22-6/23）、ひみラボ感謝祭（9/29）を行った。

8. 社会教育関係職員の研修活動を支援・サポートして地域との連携をはかる

氷見市イタセンパラ保護活用指導委員会委員として、研修活動を専門的な立場から教員1名が支援・サポートを行った。

9. 次年度の探究科学科との連携

探究科学科設置3高等学校との間で次年度の高大連携について意見交換を行い、高等学校から提出された計画書に基づいて、派遣要請教員の分担を理学部、工学部、都市デザイン学部との間で協議を行う予定である。

10. 「りっか」の発行

理学部後援会会報「りっか」第 20 号の編集を、広報委員長、理工系総務課、「科学コミュニケーション」担当の川部達哉准教授、島田瓦准教授、それに能登印刷の担当者、インタビュアーの連携で行った。

11. その他

- ・今年度は、高等学校総合文化祭自然科学部研の北信越大会が富山で開催（2/9）され、富山、石川、長野、新潟の各県から高校生が集まって大会を行った。

2.3.5 理学部広報委員会 情報・広報部会

広報委員会 情報・広報部会長 秋山正和

1. 理学部広報委員会 情報・広報部会開催日

第1回：令和6年4月3日（水）

第2回：令和6年6月27日（木）

第3回：令和6年12月12日（木）

2. 理学部案内（スペクトラ）の作成（資料1参照）

令和6年度理学部案内（スペクトラ2025）を作成した。今年度は比較的小規模な変更を行った。発行部数を3,000部として発注し、7月上旬に納品された。理学部案内は、高校訪問や出前講義などで配布するとともに、理学部のウェブページにて閲覧できるように、電子ブック版及びPDF版を公開した。

昨今のペーパーレス化への対応および印刷費用削減のため、部数や業者選定に関して慎重に議論を行った。その結果、いわゆるネット印刷系の業者に依頼することで、相当の費用を削減できることが判明した。一方、そのような業者は環境に配慮したインクや紙資源等を用いていないこともわかつたため、本年度は現状を維持することとなった。また令和7年度理学部案内に関する検討を行い、印刷部数や納品時期を決定した。特に納品時期は、全学の方針で今後一律となった。

3. 理学部ホームページの更新・改訂

- 旧学科ページの掲載については、内容のアップデートは行わないこととし、全ての学科生が卒業するタイミングで廃止する。
- 各プログラム「NEWS」欄への掲載については、明確な基準は作らないものの、オフィシャルな投稿が続き、掲載作業が逼迫する等問題があった場合、メール会議を行うことで掲載の可否を判断することとなった。
- クレハサーバーは完全に停止し、富山大学基盤センターのサーバーへ移行した。
- イベント、受賞、講演会などに関する情報を随時発信し、「トピックス」では理学部で行われている研究内容（4件）を紹介した。
 - 研究紹介動画（数学/数理情報P1本、物理P1本、化学P0本、生物P0本、自然P0本）を作成したが、大きく目標を下回った。
- 理学部ホームページや富山大学理学部公式YouTubeで紹介した。

（資料1）理学部案内（スペクトラ）

理学部案内2025の表紙と目次

The image shows the front cover and the table of contents page of the University of Toyama School of Science Catalogue 2025 (SPECTRA).
Cover: The cover features a green mountain icon with '2025' and the text '理学部案内' (Catalogue) at the top. Below it is a diamond-shaped logo with '新しくなりました!' (Newly Revised!) and '富山大学 理学部' (University of Toyama School of Science). A large green arrow points down to the title 'SPECTRA'. The background shows a group of students standing outside a modern building.
Table of Contents: The table of contents page is titled '理学部は2024年4月に改組しました。' (The School of Science was reorganized in April 2024.) It lists the following sections:

- 現 理学部 理学科 (Present School of Science, Department of Science)
 - 数学プログラム Program of Mathematics
 - 数理情報学プログラム Program of Mathematics and Informatics
 - 物理学プログラム Program of Physics
 - 生物科学プログラム Program of Biological Sciences
 - 自然環境科学プログラム Program of Natural and Environmental Sciences
- 国際コース International Courses

Other sections listed include 'CONTENTS' and various program descriptions.

2.3.6 令和6年度 理学部入試委員会活動報告

入試委員会委員長 柏植 清志

1. 委員会開催日

令和6年4月5日(第1回), 5月1日(第2回), 6月4日(第3回), 6月25日(第4回), 9月3日(第5回), 9月30日-10月2日(第6回メール会議), 10月21日-23日(第7回メール会議), 12月23日-24日(第8回メール会議), 令和7年3月17日(第9回)の計9回開催した。

2. 委員長及び全学入学試験委員会等委員の選出

入学試験委員会委員 柏植清志

電算処理専門委員会委員 柏植清志, 川部達哉, 今野紀文

アドミッションセンターハイウェイ委員 島田 亘

3. 令和6年度入学試験委員会で審議のうえ、教授会に付議した案件

- ・令和7年度入学者選抜要項（案）（4月10日）
- ・令和7年度理学部第3年次編入学試験実施マニュアル（案）（5月8日）
- ・令和7年度理学部第3年次編入学試験要項（案）及び同実施要項（案）（5月8日）
- ・令和7年度理学部総合型選抜学生募集要項（案）（5月8日）
- ・令和7年度理学部入学試験成績一覧表（案）及び電算処理仕様書（案）（5月8日）
- ・令和7年度理学部帰国生徒選抜、社会人選抜学生募集要項（案）（6月12日）
- ・令和7年度理学部一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項（案）（7月10日）
- ・令和7年度理学部私費外国人留学生選抜学生募集要項（案）（7月10日）
- ・令和7年度理学部第3年次編入学第2次募集日程表（案）及び同募集要項（案）（9月11日）
- ・令和7年度総合型選抜要項・実施要項（案）（10月9日）
- ・令和7年度理学部帰国生徒選抜および社会人選抜要項及び実施要項（案）（11月13日）
- ・令和7年度第3年次編入学試験（第3次）要項（案）及び実施要項（案）（11月13日）
- ・令和8年度第3年次編入学募集日程（案）及び学生募集要項（案）（令和7年3月17日）

4. 富山大学案内2025及び研究者データベース

入試関係資料として、富山大学案内2025の確認を行った。また、理学部教務担当を通じ、研究者データベースの加筆・修正依頼を行った。

5. 入試関連懇談会等への教員派遣

・高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会
(7月23日, 於富山大学, 松田恒平, 柏植清志)

6. 受験者数と入学者の質の維持向上に関する検討

学部改組に伴う新入試制度の下どのように受験者数及び入学者の質を担保していくかについて、以下の点を中心に意見交換を行った。

- ・オープンキャンパスにおける理学部全般の説明および各プログラムの説明内容について
- ・全学で実施される入試問題作成の体制について

2.3.7 理学部就職指導委員会

就職指導委員会委員長 野崎 浩一

就職活動時期の早期化、求人状況の変化などに伴い、学生への就職支援をさらに充実させることが求められている。そのために就職指導委員会として以下の活動を行った。

委員会開催日

- 第1回 令和6年4月23日（火）
- 第2回 令和6年9月10日（火）
- 第3回 令和7年2月21日（金）

1. 理学部3年生を対象にした就活スタートアップ講座の開催

- 4月24日(水) 13:00～14:30 会場：理学部多目的ホール
- ・野崎理学部就職指導委員長 「2023年度理学部卒業生の進路」
 - ・石黒 綾佳 氏（株式会社リクルート）「就職活動の現状と流れについて」
 - ・就職・キャリア支援センター講師 「富山大学の就職・キャリア支援について」
 - ・就活の手引きの配布

2. インターンシップへの取り組み

インターンシップ希望者に対してインターンシップを行うにあたって、インターンシップ事前説明会を開催した。

- 6月19日(水) 14:45～16:15 会場：理学部多目的ホール
石黒 綾佳 氏（株式会社リクルート）「インターンシップ前の自己分析・業界研究講座」

3. 理学部就職説明会の開催

- 10月2日(水) 13:00～14:30 会場：理学部多目的ホール
- ・就職内定者による就職活動体験談発表
内藤 仁宜さん（理学部数学科）
中野 嘉保さん（大学院物理学・応用物理学プログラム）
 - ・石黒 綾佳 氏（株式会社リクルート）「これから役立つ！研究紹介&質問力UP講座」
 - ・毛呂 郁晶 氏（株式会社マイナビ）「就職ガイダンス～本選考に向けたスケジュールと選考対策について」

4. キャリア支援授業（理系キャリアデザイン講座）の開講

10月30日～1月15日の水曜3限に、主に学部2年生を対象とした理系キャリアデザイン講座を8回開講した。理学部同窓会や理学部各学科の協力により理学部OBなどの社会人講師を招いて、就職先を決定した動機、実際に働いてみたときの経験談などを通して、理学の学士としての知識、技術、能力をどのように社会で役立てているかなどについて講義して頂いた。77名が受講した。

さらに12月18日には特別講義として、株式会社フォーラムエンジニアリングの今枝 和彦 氏による「理学系学生のためのエンジニア職セミナー」を開催した。

5. 就職活動 はじめの1歩講座の開講

来年から就職活動を開始する学部1, 2年生, 院進学予定学生を対象とした就活支援講座を開催した。

1月22日(水) 14:45~16:15 会場: 理学部多目的ホール

- ・石黒 綾佳 氏 (株式会社リクルート) 「生成AIがアシスト! 自分の強みを見つけよう講座」
- ・毛呂 郁晶 氏 (株式会社マイナビ) 「就活スタートで差をつけるために 今からできる企業探し講座」

6. 会社説明会の開催

理学部OB・OGなどによる会社説明会を就職指導委員会が共催して開催した。

7. その他

- ・就職指導委員会の開催(3回), 富山大学「就職の手引き」の配布など,これまで行われてきた委員会活動を継続して行った。

2.3.8 理学部学生生活委員会

学生生活委員会委員長 小林 かおり

はじめに

本委員会は、学部学生に加え、大学院生や外国人留学生を含む本学理学部に在籍する学生が大学に入学してから社会に巣立つまで、心身共に健康な生活を送るため、就学および生活に関する支援を行う。この支援には、大学生活上のさまざまな問題や悩み、福利厚生に関する相談事なども含まれる。また学生が主体となって開催するサイエンスフェスティバルの支援、全学の学生支援センター会議と連携してクラブ活動の支援、奨学支援活動も行う。本年度の主な活動内容は以下の通りである。

1. 委員会開催日

第1回	4月 24日	第2回	6月 28日
第3回	8月 29日	第4回	2月 25日

2. 学生生活に関するFD研修会の実施

9月11日(水)13:00~13:30に、「学生の自殺防止対策について」という演題で、教職員を対象とした講演会をオンラインにて開催した。学生支援課(学生生活相談員)の八島不二彦様にお願いし、学生の自殺防止に関しての現状と教員側のとれる対策についてご説明いただいた。

3. 防犯に関する講習会

4月9日(火)に実施した学生生活に関する理学部オリエンテーション中に不審者対応、盗難防止、薬物乱用防止、喫煙・飲酒の抑制について説明するとともに、闇バイトに関する注意喚起をDVDの視聴により行った。

4. 消費生活知識に関する講習会

富山西警察署および富山県消費生活センターから講師をお招きし、1年生を対象に消費生活知識に関する講習会を7月24日に実施し、受講後にはレポートの提出を課した。

なお、次年度については早期実施のために新入生入学時の行事の中に組み込む予定である。

5. 著作権及び知的財産所有権保護に関する説明会

総合情報基盤センター講師によるオンデマンドでの配信として4年生を対象として実施した。

6. サイエンスフェスティバル 2024 の支援

本年度のサイエンスフェスティバルは9月21日(土)、22日(日)の2日間に亘り対面で開催された。学生生活委員は、各学科の事故やトラブル発生時の対応支援のため登校し、巡回や連絡待機を行なった。学生による実験展示(科学実験ブース)企画、サイエンスカフェ企画などが、学生を主体として企画運営された。2日間とも事故の発生もなく、全企画行事を予定通りこなして盛況の内に終了した。

7. その他

学生の学修と生活に対するサポート体制の充実と、定期面談等を介した学生の修学生活指導の確実な実施がひきつづき全学的に求められている。助言教員による年2回の定期面談の実施を呼びかけている。

留学生支援については、「全学的共通経費(外国人留学生経費)による外国人留学生支援事業」など全学では国際機構、工学部および都市デザイン学部では国際交流委員会が担当しているため、本事業の申請や実施の主体や役割分担について、国際交流委員会に移行した。

2.3.9 理学部国際交流委員会

国際交流委員会委員長 畠田 圭介

理学部の一学科制が始動したのに伴い、翌年度から始まる国際コースに向けて、国際コースワーキンググループと協調しながら UTAR でのコースのプレプレラン、プレランなどの準備にも協力した。また、理学部再編委員会においても国際コースの準備に参加した。幸いにも国際コース志望者は目標の数に達し、順調な運営ができると期待される。また、学長主導の富山大学新グローバル化ワーキンググループに国際交流委員会から畠田が理学部代表、張が大学院理工学研究科代表として参加し、さらなる国際化に寄与している。

1. 委員会

- 第1回 令和6年4月3日（水）
- 第2回 令和6年4月12日（金）
- 第3回 令和6年6月17日（月）～20日（木）（メール会議）
- 第4回 令和6年7月16日（火）～19日（金）（メール会議）
- 第5回 令和6年11月26日（火）～27日（水）（メール会議）
- 第6回 令和6年12月2日（月）～5日（木）（メール会議）
- 第7回 令和7年3月5日（水）～11日（火）（メール会議）

2. マレーシア（UTAR）における国際コースプレランの実施

- ・2024年9月に国際コースプレラン（予行演習）を実施し、7名の学生が国際コース模擬英語授業を体験した。
- ・2025年3月に国際コースプレラン（予行演習）を実施し、プレランと同様、10名の学生が国際コース模擬英語授業の体験やモナッッシュ大学マレーシア校の見学を行った。
- ・それぞれ学生からプレランの感想を得て、2025年度に行う国際コース本番の英語授業内容のプラッシュアップや、研修内容の向上を目指す予定としている。

3. 学生の海外派遣、留学生の受入れ事業

- ・日本学生支援機構 2024 年度海外留学支援制度（タイプ A）にて、「未来の国際的研究者育成を目的とした研究型欧州派遣プログラム」及び「マレーシアを舞台とした理系学生のための科学英語の涵養とグローバル人材育成プログラム」が採択された。

・「未来の国際的研究者育成を目的とした研究型欧州派遣プログラム」にて、西ボヘミア大学へ修士大学院生 2 名を、レンヌ第一大学へ学部生 1 名・修士大学院生 1 名・博士大学院生 1 名、カメリーノ大学へ博士 1 名の派遣を行った。カメリーノ大学はダブルディグリーでの博士課程の派遣であり、富山大学基金事業 海外ダブルディグリー・プログラム派遣支援を受けた。

・「マレーシアを舞台とした理系学生のための科学英語の涵養とグローバル人材育成プログラム」にて、国際コースプレラン参加学生 10 名のうち 7 名に経済的支援を行った。

・富山大学五福キャンパス国際交流事業基金「令和 6 年度〈前期〉〈後期〉学生海外渡航補助事業」に学部生 3 名を推薦し、採択された。

・2024 年度全学的共通経費（外国人留学生経費）による外国人留学生支援事業に以下の企画を申請し、採択された。

外国人留学生の人的学修就職支援経費（申請額：250 千円・配分額：150 千円）

・2024 年度「外国人留学生のためのオンライン富山大学進学説明会（9/12）」において、理学部の説明希望者 2 名があり、畠田が参加・説明を行った。

・令和 7 年度学長裁量経費「本学の国際化に向けた（国際化促進）事業」を申請し、採択された。

・西ボヘミア大学の博士の学生を 2 週間受け入れた。

4. 研究者の受入れ事業

令和 5 年に学長自ら大学間協定を締結したチェコの西ボヘミア大学からリエゾンプロフェッサーである Jan Minar 教授を 1 ヶ月受け入れた。滞在中に学長訪問を行った。Minar 教授は昨年 Altermagnet の実験ならびに理論計算による同定を初めて行い、その結果は Double corresponding author として昨年 Nature に出版され、昨年度の Science 誌における科学における 10 個の Breakthrough の中で物理で唯一選出されており、本学において非常に有意義な受け入れと言える。